

# ぶらり宮代 vol.4 須賀の歴史を探る

中世の歴史と現代の文化が交差する、見所満載のコースです。須賀で、徳川家康が戰場ヶ原の合戦の前、小山に行く際に休憩をしたと伝わります。宝光寺は初代の須賀村役場で、身代神社は宮代町発祥の地です。

## 2 備前堀川 (びぜんぼりがわ)

江戸時代の初めに、伊奈備前守忠次によって開削されたので備前堀川と呼ばれています。備前堀川橋梁は煉瓦造りであり、和戸駅と備前堀川橋と備前堀川がとても絵になります。伊奈備前守忠次は徳川家康の関東入府に同行し、足立郡小室(現在の伊奈町)に居を構え関東郡代として関東平野の開発に活躍しました。



## 3 煉瓦台鉄橋 (れんがだいてっきょう)

東武鉄道の工事が始まった際に、河川や用水に掛けられた鉄道橋の橋台や橋脚に煉瓦が多く使われました。宮代町にある5か所の鉄橋は当時の煉瓦台の面影を残しており、使われた煉瓦は深谷市の日本煉瓦製造製といわれています。東武伊勢崎線は、明治32年(1899)8月に久喜まで開業し、その年に東武動物公園駅(旧杉戸駅)、和戸駅も設置されました。ちなみに東京駅の煉瓦も日本煉瓦製造製といわれています。

## 4 須賀小学校 (すかしょうがっこう)

須賀小学校は、明治6年(1873)に西条原の宝光寺で開校、当時は西条学校と呼ばれていました。その後、東条原の旧大聖院に移転し条原小学校と呼ばれていましたが、大正5年(1916)に現在地に移転し須賀小学校に改称しました。学校移転の際、条原小学校のカヤの木を須賀小学校に移植。現在も残っています。楓の木は、元々須賀小学校の校庭の東側にありましたが、校庭を東側に拡張したため、現在は校庭の中央に存在します。

## 5 宝光寺 (ほうこうじ)

曹洞宗のお寺で白岡市にある興善寺の末寺で、天文元年(1532)の創立といわれています。明治22年(1889)、須賀(すか)村、和戸村、国納(こくのう)村、西条原村、東条原村が合併した須賀村の役場が明治40年まで置かれていました。本尊は地藏菩薩で、ぶっさり地藏の逸話が伝えられています。



# “須賀の歴史を探る”コース vol.4

総距離:約6km 所要時間:約5時間

- スタート
- 1 和戸駅
  - 2 備前堀川 伊奈備前守忠次の名前から
  - 3 煉瓦台鉄橋 東武鉄道の歴史を今に
  - 4 須賀小学校 大楓のそよぐ小学校
  - 5 宝光寺 元須賀村役場跡
  - 6 大聖院跡 条原小学校跡
  - 7 東条原鷲宮神社 獅子舞が伝承
  - 8 真蔵院 鎌倉時代の創建
  - 9 金剛寺 十一面観音
  - 10 日本工業大学 工業高校生の為に創立
  - 11 身代神社 宮代町の「代」をこの神社から
  - 12 進修館 宮代町のランドマーク
- ゴール 13 東武動物公園駅西口駅前広場

【注意事項】 散策をするときは、交通量の多い道路や河川沿いなど、交通安全には十分ご注意ください。また、ゴミはお持ち帰りいただくようお願いします。自然路や史跡など、コース周辺の見どころには私有地が多含まれますので、所有者とのトラブルにならないようご注意ください。

### memo

【参考・引用文献】 本資料をまとめるにあたり宮代町発行の下記の資料を参考にしています。  
 ○宮代町史 通史編 ○社寺総合調査 ○宮代の道/平成15年度 宮代町郷土資料館企画展  
 ○みやしろ歩け歩け!/平成21年度 宮代町郷土資料館企画展 ○その他宮代町関連資料

「歴史」と「自然」を合わせた合成語です。  
 歴史自とは…みやしろ市民ガイドクラブのシンボルマークです。

宮代町役場ホームページ  
<http://www.town.miyashiro.saitama.jp/>

新しい村ホームページ  
<https://www.atarasiimura.com/>

発行: 宮代町産業観光課・みやしろ市民ガイドクラブ  
 協力: 宮代町郷土資料館  
 〒345-8504 南埼玉郡宮代町笠原1-4-1  
 お問い合わせ: tel.0480-34-1111

VEGETABLE OIL INK  
 植物油インキを使用しています。

201603/5,000

# ぶらり vol.4

# 宮代

## 須賀の歴史を探る

ここがみどころ!

- 東条原を通る鎌倉街道
- 大聖院の条原小学校から須賀小学校へ
- 初代須賀村役場であった宝光寺
- 宮代町の名称の発祥地、身代神社



身代神社



条原小学校前の記念写真



煉瓦台鉄橋

魅力いっぱい!

